

令和2年度 森林環境譲与税に関する決算状況

事業名	事業内容・実績など	事業費 (円)
Ⅰ・林業担い手の確保・人材育成	「わかやまの森」次世代人材確保支援事業 【都市部での情報発信と林業就業へのトータルサポート】 都市部への林業就業PRとセミナーおよび就業相談会の開催 ・セミナー及び相談会：6回(110名) ・県林業PRのためのSNSによる情報発信、動画サイトによるPV配信 【林業無料職業紹介事業運営】 わかやま林業労働力確保支援センターで林業に特化した無料職業紹介機能および、Webサイト「わかやま森林の職業紹介ナビ」を運営 ・求人登録者：14事業者 ・求職登録者数：17名→就業8名、林業研修部入講1名	22,258,463
	農林大学校林業研修部事業 【最先端林業を学べる環境整備】 農林大学校林業研修部における最先端林業を学べる研修設備（多機能アタッチメント付き車両系林業機械、林業仕様産業ドローン等）の導入 【林業経営コースの研修内容拡充】 木材流通における最下流からの視点を養う木造建築研修、森林3次元計測システムを活用したレーザー計測研修、自己啓発セミナーを令和元年度から実施	25,628,188
	森林・林業雇用総合対策事業 【林業研修部研修生の安全保護具購入支援】 研修期間中に使用する安全保護具の購入を支援 ・支援対象者：8名 【緑の青年就業準備給付の対象外となる林業研修部研修生の受講を支援】 林業への就業時の年齢が45歳以上54歳未満の研修生に対し、一定の要件を満たす場合に給付し、受講を支援 ・支援対象者：2名 【現場指導者の育成】 林業事業者の現場作業班において指導的立場にある班長クラス職員の指導スキル向上のための研修を実施 ・研修(4日間)：1回(3名)	5,597,928
	森の守り人支援事業 【意欲と能力のある林業経営者向け研修】 林業経営者向け研修の実施 ・研修：2回(250名) 【伐木技術競技会】 安全で正確なチェーンソー技術の研鑽と啓発のための競技会を開催 ・競技会：1回(18名)	2,576,725
	森の守り人支援事業 【市町村職員等研修・巡回支援】 森林経営管理制度の円滑な実施を行うため、市町村職員等を対象とした研修の実施と定期的な巡回支援を委託により実施 ・研修：10回(29名・延べ77名) ・巡回支援：4巡(30市町村) 【森林資源情報整備】 既存の航空レーザー測量成果等を活用し森林資源情報の解析や地形情報の整備を行い、市町村へ提供することで森林経営管理制度への取組を支援 ・対象森林面積：1,431.47km ² 【公共施設木造化相談窓口】 市町村の公共建築物の木造化・木質化の促進に向けた技術的支援を実施 ・相談件数：6件	78,498,240
Ⅱ・市町村への支援	森の守り人支援事業 【紀伊半島3県共同研究】 紀伊半島3県の共通課題に対し実行委員会による共同研究を以下のテーマで実施 ・紀伊半島の地形にあった木材運搬トレーラーの開発に向けた研究 ・紀伊半島の森林経営管理に適した目標林型の類型化と施業指針の作成に関する調査・研究 【制度の普及啓発等】 森林経営管理制度等の新制度について普及啓発活動を実施 ・講演会：1回(163人) ・パンフレット作製・配布	2,435,289
Ⅲ・取組その他の	森の守り人支援事業 【紀伊半島3県共同研究】 紀伊半島3県の共通課題に対し実行委員会による共同研究を以下のテーマで実施 ・紀伊半島の地形にあった木材運搬トレーラーの開発に向けた研究 ・紀伊半島の森林経営管理に適した目標林型の類型化と施業指針の作成に関する調査・研究 【制度の普及啓発等】 森林経営管理制度等の新制度について普及啓発活動を実施 ・講演会：1回(163人) ・パンフレット作製・配布	2,435,289
計		136,994,833
森林環境譲与税活用基金造成	今後継続して実施する市町村支援や林業担い手対策に関する事業実施のための基金積立	7,201,297
合計		144,196,130

森林環境譲与税活用の効果

・県内30市町村の8割にあたる24市町において森林経営管理意向調査が実施されるとともに、6市町において森林経営管理権集積計画が作成された。また、1町において県内初となる取組である経営管理実施権配分計画が作成されるなど、令和元年度から始まった新しい制度（森林経営管理制度）の円滑な実施につながった。
 ・喫緊の課題である林業従事者の確保においては、前年度32名であった新規就業者数は令和2年度は46名に増加した。また、令和3年度の農林大学校林業研修部への入講者数は11名となり過去最多となった。